

Moodle 課題モジュールの活用

ールーブリックを利用した課題の採点ー

総合情報基盤センター 准教授 上木 佐季子

1. はじめに

Moodle の課題は、課題内容の提示、課題レポートの収集、評価を行うことができる活動モジュールである。評価方法としては、数字、評価尺度、ルーブリックのような高度な評定方法を使って評定することができる¹⁾。本稿では、Moodle の課題において、まずはルーブリック評定を利用した採点手順を紹介し、次にそのルーブリック評定のフォーム定義および編集について解説する。

2. ルーブリック評定を利用した提出課題の採点

ここでは、サンプル画面を示しながら、提出された課題をルーブリックで採点する流れを紹介する。

(1) 課題の提出一覧表示

採点する課題タイトルをクリックし、評定概要画面から [すべての提出を表示する] ボタンをクリックすると、提出された課題の一覧を表示される (図 1)。



図 1. 課題の提出一覧表示

(2) 個々の提出課題の評価ページ表示

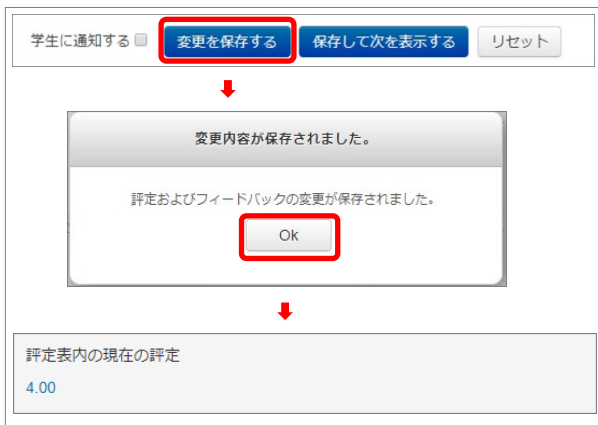
課題の提出一覧より、いずれかの [採点] ボタンをクリックすると、提出課題の評価ページが表示される (図 2)。(提出一覧を表示せずに評定概要画面の [採点] ボタンより評価ページを表示することもできる。なお、その場合は、提出一覧最初の学生の評価ページが表示される。)



図 2. 個々の提出課題の評価ページ表示

(3) ルーブリックによる評価

評価基準ごとのレベルを選択するには、そのレベルのセルをクリックする。選択されたレベルは、そのセルの背景の色が変わる (図 3)。「変更を保存する」または「保存して次を表示する」をクリックすれば、採点が計算される (図 4)。学生は、図 5 のように評定基準と自分の評定結果を確認することができる。



3. 課題の設定とルーブリック定義

コースの教師が課題の評価方法として、ルーブリックを利用する手順について、次に示す。

3-1. 課題の設定

まずは、次に示すように課題の基本設定をする。

(1) 課題の追加

編集モード画面で [活動またはリソースを追加する] (図6) をクリックし、活動一覧から [課題] を選択し、[追加] ボタンをクリックする (図7)。



(2) 課題の設定（一般）

課題の設定画面では、まずは、その課題の課題名を入力する。項目名右横上に赤の*印がついたものは、入力必須である。「説明」欄には、課題の内容などを必要に応じて入力する（図 8）。



図 8. 課題の課題名と説明

(3) 課題の設定（評点）

次に、評点に関して設定する。ここでは、採点にルブリックを使用するために、評定方法として「ルブリック」を選択する（図 9）。必要に応じて、最大評点も変更する（最大評点のデフォルトは 100）。




図 9. 課題の評定方法「ルブリック」

以上の設定後、[保存してコースに戻る]ボタン（図 10）をクリックする。これで課題の設定内容が保存される。



図 10. 課題の保存

3-2. ルブリックの定義

課題の基本設定後に、次に示すようにルブリックの定義をする。

(1) 課題の「設定を編集する」画面を開く

課題の設定編集画面を図 11 で示す手順で開く。



図 11. 課題の設定編集画面

(2) 「ルブリックを定義する」画面を開く

「管理」ブロックの[課題管理]>[高度な評定]の[ルブリックを定義する]（図 12）をクリックし、表示された「高度な評定」画面（図 13）で「新しい評定フォームを最初から定義する」ボタンをクリックする（既に定義されたルブリックがあれば、「テンプレートから新しい評定フォームを作成する」ボタンより、作成済みの評定フォームを読み込み、それを編集することもできる）。



図 12. 管理ブロックのメニュー（高度な評定）



図 13. 高度な評価

(3) ループリックを定義する

名称

「ループリックを定義する」画面では、まず、ループリックの「名称」を入力する(図 14)。



図 14. ループリックの名称

ループリック

次に、ループリックの「クライテリア」(判定基準)とその「レベル」と「点数」を入力する(図 15)。「クライテリア」は必要に応じて追加することができ、「レベル」も追加、削除ができる。



図 15. ループリックを定義する

ループリックオプション

「ループリックオプション」として、図 16 示す項目が用意されている。オプションの最初にある「レベルの並び替え順」の「点数の昇順/降順」は、ループリックを保存したときに有効になる。また、「ユーザがループリックをプレビューできるようにする(そうでない場合、ループリックは評価後のみ閲覧できます)」オプションを無効にする(そうでない場合、ループリックは評価後のみ閲覧できます)オプションを無効にすれば、評価前は課題の判定基準を学生ユーザからは非表示にすることができる。

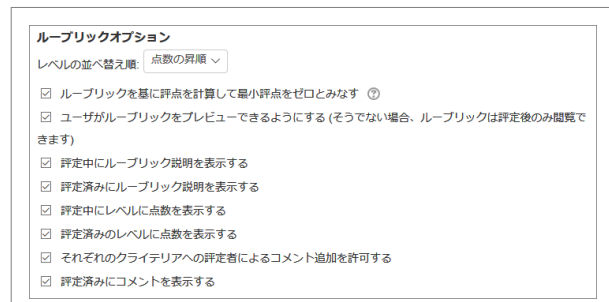


図 16. ループリックオプション

保存

入力したループリックを保存して利用可能にするには、[ループリックを保存して利用可能にする]ボタンをクリックする(図 17)。作業の途中で保存するには、[下書きとして保存]ボタンをクリックする(図 18)。



図 17. ループリックを保存して利用可能にする

ルーブリックを保存して利用可にする
下書きとして保存する
キャンセル

↓

高度な評価: 課題01 (提出課題)

アクティブ評価方法を変更する ⓘ ルーブリック ▼



現在のフォーム定義を
編集する



現在定義されている
フォームを削除する

注意: 現在、高度な評価フォームの準備が整っていません。フォームが有効な状態になるまで、シンプル直接評価方法が使用されます。 ❌

課題01_評価基準 下書き

ファイル形式、文字数は課題の要求に 応えているか	要求に 応えていない 0点	いくつかの 要求に 応えて いる 1点	すべての 要求に 応えて いる 3点
	0点	1点	3点

図 18. 作成途中のルーブリックを下書きとして保存する

4. おわりに

今回、Moodle の課題におけるルーブリック評価について簡単に解説した。詳しくは、富山大学総合情報基盤センターWeb サイトの Moodle インストラクタ用ガイド (富山大学版) ②をご覧ください。

参考文献

- [1] "MoodleDocs", <https://docs.moodle.org/> (2019.3.31)
- [2] 富山大学総合情報基盤センター, "Moodle インストラクタ用ガイド (富山大学版)", <http://www.itc.u-toyama.ac.jp/moodle3/guide/> (2019.3.31)